

つれづれ  
草

最近、いちばんドキリとした言葉です。雑誌が何かに掲載されていたものですが、子育てと仕事に忙殺されるワーキングマザーの嘆きでした。私もワーキングマザーの一人ですが、一言でズバリと心を言い当てられた気がしたのです。

ワーキングマザーの日常は、やってもやっても追いかけてくる家事に振り回されて、とても忙しいものです。朝ごはんや晩ごはん、子どものお弁当やお茶の用意、食べただけ汚れる食器を片づけて、洗濯、物干し……。そして、お風呂に入れば浴室が汚れ、片付けたそばから散らかっていく部屋をまた片付け……。毎日毎日、仕事以外の時間は家事ばかりして過ぎていく——ような気がするのです。

そんな中で、夜の会議や研究会は欠席が続いてしまったり、自分のための外出なんてしていなかったり、新しい知識も増えていないような……。自分に投資していない、自分になにも蓄積してない。そう気がつくのと、恐ろしくなつて焦ってきます。この子たちがいてくれてよかったな、と思う気持ちが一番の真実ですが、本当はこんなコトがしたかったのに、あんなトコに行きたかったのに、と思う気持ちがふと沸き起こると、心がグラングラン揺れるのです。

また、私の所属する研究所では、定年後の高齢者の生活についての研究も進められています。その担当者によると、今の仕事に埋没せずに、定年後の準備を計画的に少しずつでも行っていくのは、とても大切なことのようにです。高齢出産（35才以上での

出産）があたりまえになり、40代での出産も普通となると、定年後の生活に向けた準備期間と子育ての終盤期が重なります。定年と同時に、なんの準備もないままに、仕事と子育てから一気に解放された時、自分に何が残るだろう。その時、カラッポだったらどうしよう。定年後の職探しをするにしても、カラッポのままでは行くところはありません。

コノママじゃ、ダメだ。

学ばねば。遊ばねば。少しずつでも、自分に何かを蓄積し続けたい。そう決意はするものの、なかなかうまくいきません。時間が無いというのはい訳にしかならないとわかっていながら、時間が無い。やはりスキマ時間をうまく使うしかありません。

まず、出社前の朝の家事と帰宅後の夜の家事をリスト化しました。時間を無駄にせずに、どんどんと次の仕事に取りかかれるようになり、少しは時短につながり、家事のやり残し・やり忘れがなくなりました。次に、スキマ時間ができた時にやりたいことリストも作りました。「よし、スキマができたっ！」と思ったら、すぐにできるように。でも、やりたいことリストの上位には、まだまだ溜まった家事や子ども関係の用事が並んでいます。リストからこれらがなくなったら、下に回ってくるのかな……。そしてこれからは、多少夜になっても可能な限り研究会などには参加する

ようにしよう。子どもたちが少し成長して、自分で簡単な煮炊きや炒め物くらいならできるようになってきたからです。宅配という最後の手段もあり、いろいろなものが頼めずいぶん便利な世の中にもなっています。

もう一つの決心は、ご縁のあったお仕事は、できるだけお引き受けしてがんばろう。ちよつと難しいかなと思っても、挑戦することをやめずにいよう。そこから得られるものが、いつもあったじゃないか。

ちよつどそんなことを考えている時に、つれづれ草の執筆陣に加わって欲しいとのご連絡をいただきました。大きなチャレンジですが、続けてさせていたたくことができればと思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

かも・みどり

京都大学大学院

工学研究科建築学専攻博士課程修了

博士(工学)・一級建築士

(一社)京都府建築士会代議員

大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 主席研究員

神戸芸術工科大学、神戸松陰女子学院大学、

大阪商業大学 非常勤講師

あ、ヤバい、私、カラッポだ。